



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5458 URL http://www.takasago-t.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大植 啓一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 畑田 正樹 TEL 03-5399-8111
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	8,365	6.4	425	0.1	415	14.7	311	11.3
2018年3月期第3四半期	7,861	19.7	424	59.7	361	59.9	280	△26.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 315百万円 (8.8%) 2018年3月期第3四半期 290百万円 (△25.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	103.89	—
2018年3月期第3四半期	93.32	—

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	7,963	2,966	37.3	988.02
2018年3月期	8,228	2,710	32.9	902.86

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 2,966百万円 2018年3月期 2,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	4.4	560	0.7	540	8.2	430	6.1	143.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	3,008,000株	2018年3月期	3,008,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	5,553株	2018年3月期	5,521株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	3,002,460株	2018年3月期3Q	3,002,747株

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら先行きには、米中貿易摩擦の激化、英国EU離脱交渉の混迷、中国の景気減速など主に海外に起因する不確実性の影響により、下振れ懸念が強まっております。

鉄鋼業界におきましては、東京五輪や都市再開発関連での建設分野向けや、自動車をはじめとする製造業向けの鋼材需要が引き続き堅調に推移いたしました。

このような経済状況の下で、当社グループは、激変する市場環境を勝ち抜き、事業の拡大・発展と強靱な企業体質を確立するため、鉄鋼製品事業でのみがき帯鋼およびステンレスの両分野において売上高を拡大し、収益力を高め、財務体質の強化を図る等、2018年～2020年度の中期計画の着実な実行に努めてまいりました。

主力のみがき帯鋼では自動車部品向け受注数量は安定的に推移し、ステンレスにおいてはエンボス・加工品ともに総じて底堅く、子会社でのステンレス鋼材の卸販売も市況安定を受け堅調に推移いたしました。また、コスト低減にも全社をあげて継続して取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,365百万円（前年同期比6.4%増）と増収となり、利益につきましては、営業利益は425百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は415百万円（前年同期比14.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は311百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は7,963百万円となり、前連結会計年度末より264百万円減少いたしました。これは主に減価償却により固定資産が減少したことによるものです。

負債総額は4,996百万円となり、前連結会計年度末より520百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金や社債、借入金等が減少したことによるものです。

純資産につきましては、2,966百万円となり前連結会計年度末より255百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、これまでのところ業績は概ね想定に沿って進捗しており、2018年5月11日付け「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,256	1,369
受取手形及び売掛金	2,706	2,641
商品及び製品	690	653
仕掛品	304	328
原材料及び貯蔵品	430	428
その他	28	26
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	5,413	5,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	991	923
機械装置及び運搬具(純額)	1,290	1,124
土地	275	236
その他(純額)	22	26
有形固定資産合計	2,579	2,311
無形固定資産	44	34
投資その他の資産		
投資有価証券	22	17
繰延税金資産	121	114
その他	50	47
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	190	174
固定資産合計	2,814	2,520
資産合計	8,228	7,963

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,792	2,612
短期借入金	535	509
リース債務	33	19
未払法人税等	93	21
未払消費税等	35	44
賞与引当金	52	54
その他	551	584
流動負債合計	4,094	3,846
固定負債		
社債	125	—
長期借入金	112	—
リース債務	13	1
役員退職慰労引当金	128	110
退職給付に係る負債	924	919
資産除去債務	33	33
その他	85	85
固定負債合計	1,422	1,150
負債合計	5,517	4,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	1,290	1,542
自己株式	△6	△6
株主資本合計	2,788	3,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	3
退職給付に係る調整累計額	△84	△76
その他の包括利益累計額合計	△77	△73
純資産合計	2,710	2,966
負債純資産合計	8,228	7,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	7,861	8,365
売上原価	6,675	7,162
売上総利益	1,186	1,203
販売費及び一般管理費	761	777
営業利益	424	425
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
業務受託料	1	1
仕入割引	1	2
受取保険料	—	1
環境対策費戻入益	—	3
その他	0	1
営業外収益合計	4	10
営業外費用		
支払利息	22	13
環境対策費	38	—
その他	6	6
営業外費用合計	67	20
経常利益	361	415
特別損失		
固定資産売却損	—	10
固定資産除却損	—	8
特別損失合計	—	19
税金等調整前四半期純利益	361	395
法人税、住民税及び事業税	88	74
法人税等調整額	△6	8
法人税等合計	81	83
四半期純利益	280	311
親会社株主に帰属する四半期純利益	280	311

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	280	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△3
退職給付に係る調整額	6	7
その他の包括利益合計	9	3
四半期包括利益	290	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290	315

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。